

4題の発表と会員による実技講習

第54回愛知県柔道整復学会
第92回会員研修会

7月7日(日)午前10時から正午まで、本会講堂にて第54回愛知県柔道整復学会・第92回会員研修会が開催され、会員143名と勤務柔道整復師7名が参加した。

森川会長は挨拶にて、第92回の会員研修会は、全国で一番歴史のある会員研修会となっていることを述べ、「日々の研修で患者さんに良質な施術を提供しようという心構えで参加している会員が多いと思う、その積み重ねで患者さんが足を運んでいただけたらと思う、患者さんに安心安全な施術が提供できるような情報が発表を通じて提供される、最後までご協力お願いします」と締めくくった。

1. 足関節内返し捻挫から内果後部部痛が発生した一症例



澤田 陽俊会員 (半田)

サッカー部所属の男子高校生が足関節内返し捻挫(前距腓靭帯部損傷)で来院、軽症であったため1週間ほどで部活を再開したところ、足関節内果後部痛と背屈制限が発生。下腿～足関節後方に保存療法を実施し受傷から7週間で治癒したと報告した。

2. 骨折・脱臼整復シミュレーターの研究開発

～肩甲上腕関節運動と肩関節烏口下脱臼のシミュレート～



高須 周平会員 (刈谷)

新たな連結方法(磁石)を用いたシミュレーターを研究開発した結果、肩甲上腕関節の関節運動及び、肩関節烏口下脱臼の動きをスムーズにシミュレートすることができ、発生機序・転移・整復を学習する点で有用であると発表した。

3. 舟状骨内側に発生した足部痛～有痛性外脛骨と診断された症例～



赤松 徳浩会員 (鶴舞)

10代女性に対し、施術し第1～5中足骨間の背側骨間筋部、母趾外転筋部など、筋肉の圧痛部位を施術しストレッチをする事で、良好な結果が得られたと報告した。

4. 初期に胸鎖関節後方脱臼と思われたが後に鎖骨近位端骨折が判明した症例の報告



山北 陽一会員 (中村)

鎖骨の骨端線閉鎖以前の年齢では脱臼よりも骨折(骨端線離開)が発生する可能性があることを理解しなければいけないと報告した。



11時10分から第92回会員研修会が、「上肢軟部損傷に対する固定～固定法・固定具の紹介～」と題し開催され、下記の内容で3人の会員が発表した。

1. 永田 和平会員 (岡崎) : 早期可動域訓練と手指掌側の固有感覚を早期から再構築する目的の固定
2. 山本 和成会員 (豊橋) : 救護現場でヘアピンを用いた指関節捻挫の固定法、ドライヤーで成型できるキャスト材での固定法
3. 森 正仁会員 (半田) : 自作したミッテルドルフ三角副子～番線を利用した肩外転位固定具 (広報部)



← 永田 和平会員



↑ 山本和成会員 (右)
宮阪智也会員 (左)



→ 森 正仁会員

第25回東海4県役員合同協議会



7月7日(日)午後2時から午後4時50分まで東海役員合同協議会が、47名の参加で本会講堂にて開催された。

はじめに、服部和人三重県副会長の司会進行にて昨年度の東海ブロック役員物故者(岐阜県 細野勝己柔道部長・愛知県 長谷川貴一副会長)に対して黙祷が奉げられたのち、伊藤宣人三重県会長の開会の辞で始まり、続いて本年度より東海ブロック会会長を務める鹿野道郎岐阜県会長が挨拶を述べた。

本年度は、①組織率向上対策について②各県の面接確認委員会進捗状況について③各県の違法広告に関する活動についてとして、三つの協議事項の各県での取り組みが報告された。そのうち質疑応答があり、最後にその他として日整の活動状況について森川伸治日整学術教育担当理事・伊藤宣人日整保険部長が答えた。最後に静岡県の岩澤勇治事業部長が7月21日(日)に開催される第38回日整東海ブロック柔道大会・第16回柔整師杯東海少年柔道選手権大会・第9回東海少年柔道形競技会(藤枝市 静岡県武道館)について各県に協力を依頼し締めくくった。

(広報部 古賀 一)

日整通常総会



6月23日(日)正午より、日本柔道整復師会館において通常総会が開催され、本会より森川会長(日整理事)と藤川副会長・小林副会長・早川総務部長(いずれも代議員)の4名が出席した(代議員総数101名、出席者101名)。

総会は、三橋総務部長の司会進行により始まり、物故者に対する黙祷と、帰一賞の授与式が行われた(帰一功労賞9名、帰一学術賞1名、帰一精錬賞2名の計12名)。その後、正副議長に及川 磨(岩手)・平良光政(沖縄)両代議員が選出されて始まり、三橋総務部長の平成30年度事業報告のあと、以下の議題について審議された。

(1)平成30年度決算案の承認について (2)令和元年度会費免除者の承認について (3)会費規定(改正案)の承認について (4)役員を選任について (5)会長及び副会長の選定について

議事は、円滑に進み(1)～(3)については挙手多数にて可決承認された。

日整役員改選となる今回は、理事16名に対し18名の立候補があり選挙となった。森川会長は、全体3位での余裕の当選となった。

会長には、工藤鉄男 副会長には、萩原正和・松岡 保 に決定された。監事には、高橋政夫(千葉県) 嶋谷 清(石川県)の両名となった。(日整代議員 藤川和秀)

地域小学校での校外講師活動に参加して

6月10日(月)豊田市立平井小学校にて「学校保健委員会」という校外講師を招いて実施する授業をこのたび担当した。

参加者は小学4年生67名とその父兄で、テーマは運動器の仕組みと使い方の講義を行った。資料を配布し、ホワイトボードで理論を説明し、実技を通して評価もできるように実施した。児童の代表者からは「身体の使い方を知って身につけることで、ケガや予防や治療に効果があることを学びました。」という感想をいただいた。

(岡崎支部 西村武蔵)

